

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぽにいルーム		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないように、子どものニーズに応じて内容が工夫されている	子ども達からの声に耳を傾け、やりたい活動について全員で話し合い個々に配慮した内容を提案している。	新し活動を提案し、子ども達による評価や、保護者様からのお声も頂戴していく。
2	保護者と職員との間で、日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解がなされている	連絡帳やLINEを使用して営業中はいつでも連絡が取れるようにしている。送迎時にも活動についてや日々の様子も伝えるようにしている。	保護者会や親子レクについて早めの公表をして保護者様のご参加を促す。
3	定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が、子どもや保護者に対して発信されている	ホームページで月1回以上の活動報告や通信の発行を行っている。	ホームページの整備や、通信に載せる内容を工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者への周知・説明がなされているか	契約・重要事項の説明の際に、保護者様に対して説明を行っているが、不十分なのだと考えられる	年度に1回通信等での周知と避難訓練の際に周知を行う。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているが、保護者に認識されてない	避難訓練は年2回以上行っているが、認知度が未だ高くない。	計画的な実施と実施報告を行うとともに、子ども達から保護者様に伝えられるような工夫や活動を取り入れる。
3	集団での活動がほとんどで、個別での対応に人手不足を感じる。	グループ活動以外での活動について3~4名で対応しているが、児童が輪から離れる際に個別での対応が難しい。	活動や職員の配置を工夫し、今後個別対応もできるようにしていく。